



研究授業をしました

～読み取り、伝え合い、高め合う授業づくり～

本校では、国語科を中心に、文章に書かれていることを読み取る力、読み取ったことを相手に分かりやすく伝える力、伝え合うことで互いに高め合う力を育てる取組を進めてきました。その一つとして行った、11月の研究授業の一端を紹介します。

4年 『ごんぎつね』

ごんを火縄銃で撃ってしまった兵十の気持ちや、撃たれたごんの気持ちを文章に即して想像し、話し合っていました。



☆ああ、うたれてしまった。もう少し早く気付いてくれてたら、うたれずにすんだのになあ。でも、これで兵十は、おれのことゆるしてくれるかな。これからは、兵十のこと見守ってあげよ。

☆悲しいなあ。もう兵十の顔も見られないんだ。うなぎのつぐないをもっとして、兵十のよろこぶ顔を見たかったなあ。

5年 『大造じいさんとがん』



なかまのがんを救うために、はやぶさと戦う残雪を見て、大造じいさんは構えていた銃をおろします。そのときの大造じいさんの気持ちを、グループで話し合いながら

深めていきました。

☆あっ、はやぶさががんをねらっている！ わしのおとりのがんがけられてしまった。もうだめだ…。あっ、残雪がもどってきたぞ！ チャンスだ！ うとう！ でも、何でもどってきたんだ？ なんと、はやぶさと戦っているではないか！ どうして？ このがんは、わしがおまえをとらえるためにおとりとして放したのじゃ！ それを助けるなんて！ やっぱり、仲間思いの残雪を今はうってはいけない。今うったら、わしの負けじゃ！

1年 『天にのぼったおけや』

ひでり続きの村にたくさん雨をふらそうと思って、雨

のつぶをどぼっとまいてしまったおけやのせいで、村は大水になってしまいました。そのときのおけやの気持ちを動作化もまじえて考えていきました。☆大水にしてしまってもめんなさい。そのとき、わしはこうかいました。

でも、ほんとうは、そんなことするはずじゃなかったんです。わしは、田んぼとかに水をあげたかっただけです。どうかおゆるしてください。

☆雨をふらしすぎてどうもすみませんでした。やさいがそだたなくなるから、おまけをしました。でもやりすぎました。ほんとうにごめんなさい。



11月の学習参観日より

○子どもたちが実際に車いすに座ったり、白い杖をついたり、松葉杖を持ったりして、興味深く学習している様子がかわいらしく見えました。動物でも、障害のある人・ない人でも、『何かができたらうれしい』という気持ちはみんな同じだ』ということ学びました。これからは、いろいろな気持ちが理解できる大人に育ってほしいと思いました。（2年保護者）



○一生懸命発表の内容を覚え、緊張した顔つきで話す姿は、5年生らしさ、高学年らしさを感じ、たのもしく思えました。笑いをとるツボをおさえていたり、声をそろえて言うポイントをおさえていたり、試行錯誤しているのがよく分かり、ほほえましかったです。家庭でも内容を思い返し、エコに精進したいです。（5年保護者）

お知らせ

本校では、学校教育全般について保護者の皆様からご意見をお聞きし、今後の学校教育活動の改善に生かしていく取組を行っています。後日アンケート用紙をお配りしますので、お手数ですが一軒に一枚でなく、子ども一人につき一枚のご協力をお願いします。